

なお、神経症的登校拒否のうち、Aタイプ、Bタイプの状態像、性格、形成過程（生育史）について諸文献を引用しまとめてみると次のようになる。

項目	Aタイプ（優等生の息切れ型）	Bタイプ（過保護による未成熟型）
状態像	<ul style="list-style-type: none"> ○発症経過は急性 ○とじこもりがちで生活が乱れる ○罪悪感がひどい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発症経過は慢性 ○とじこもりはひどくなく親和的 ○罪悪感はそれほどひどくない。
性格等	<ul style="list-style-type: none"> ○神経質できちょうめん。 ○完全欲求（要求水準が高い） ○自尊心が強い。 ○いつも仲がよくけんかなどはない。 ○学業成績がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○神経質できちょうめん。 ○社会的耐性が不足している。 ○依存性が強い。 ○情緒的に未成熟 ○物質的、金錢的な欲望が強い。 ○わがままなために友人ができにくい。 ○身体を動かすことを好まない。 ○学科の好き嫌いが強い。 ○偏食が著しい。
親子関係	<ul style="list-style-type: none"> ○父親との関係がうすい。 ○母親はしっかりしており、支配干渉が強い。 ○両親は知的に高く、子供に対する期待が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○父親との関係がうすい。 ○母親はやさしく、過保護、溺愛がみられ、子供の要求に負けてしまう。
	<ul style="list-style-type: none"> ○思春期前まで、誤った「よい子」の評価をされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思春期になって登校拒否が決定的になるまでに何回か学校を嫌う状態を示している。